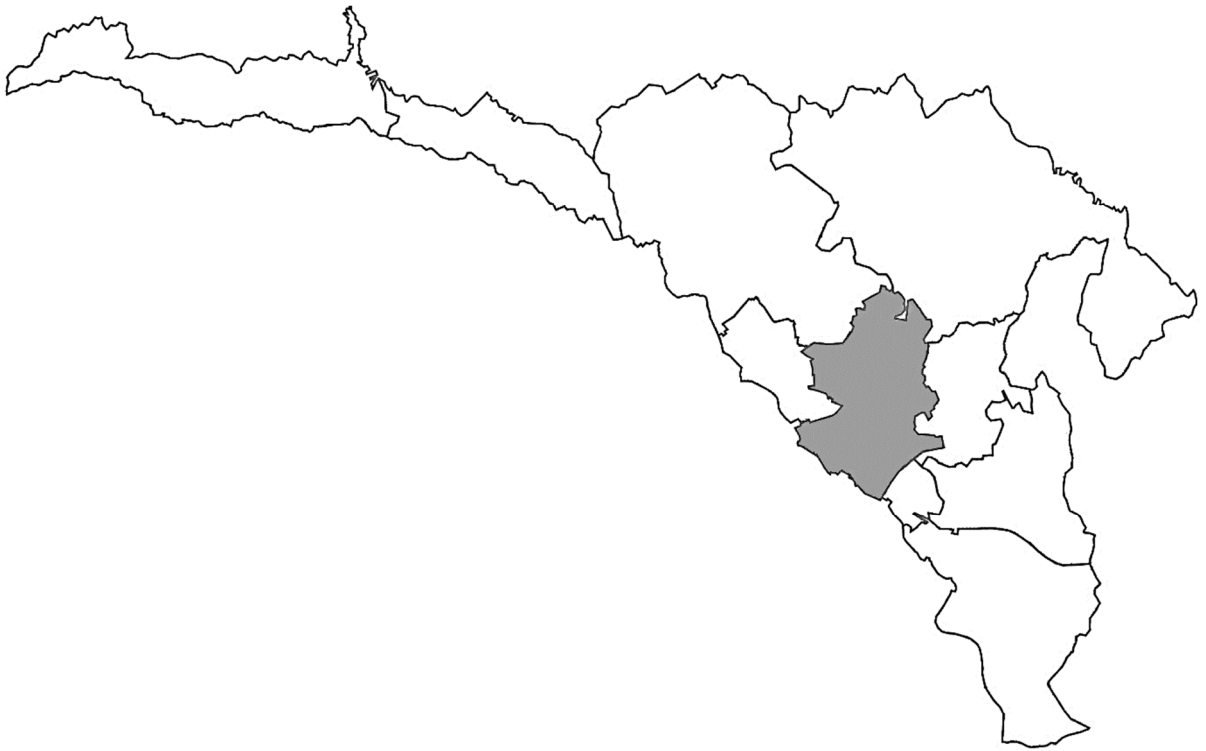


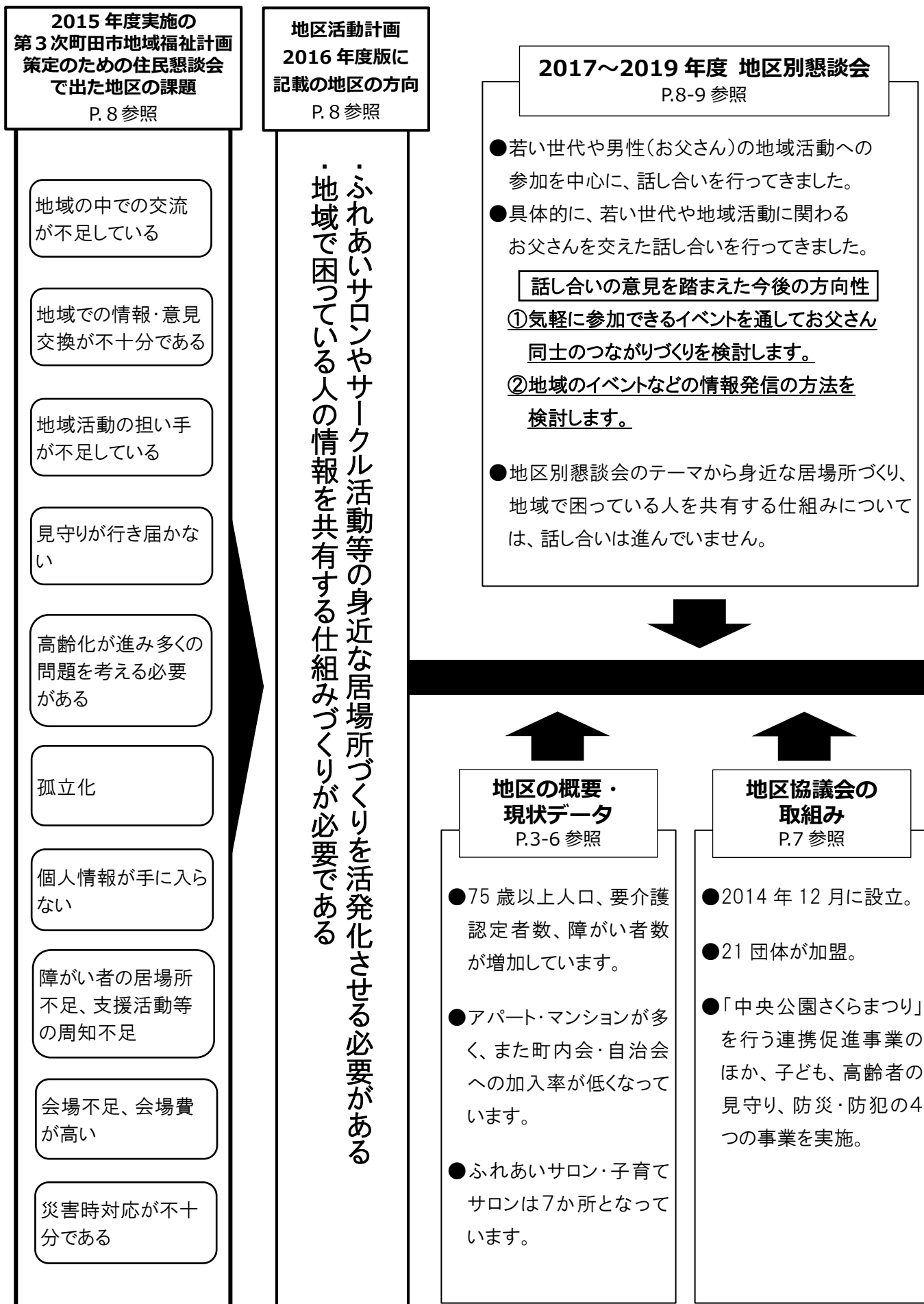
町田第二地区 基 礎 資 料



2022 年度 町田市地区別懇談会

基礎資料につきましては、開催日当日に使用する資料ではありません。
ご参加いただく皆様に事前にお目通しいただけるよう、地区の概況を
まとめた資料となっております。

1. 過去5年間の取組み等を踏まえた地区のまとめ



**2020 年度
地区別アンケート**
P.10-15 参照

**親子で楽しめるイベント
について**

- コロナ禍であってもイベントへの参加希望は高く、子どもが体を動かせるイベント等の希望が多くなっています。

**アンケート結果を踏まえた
今後の方向性**

親子で参加できるイベントを通して、お父さんを含めた子育て世代が地域に興味を持つきっかけづくりを進めていきます。

**5年間を通して
生まれた取組み**
P.16 参照

- 現役世代の参加や親子のイベントを交えた地区別懇談会を開催しました。

**タウンミーティング
の結果** P.22 参照

**住みたい(なりたい)
まちの姿について**

- 「高齢者の活躍」等の意見が出ています。

**過去5年間の取組み等を踏まえ
見えてきたこと**

①子育て世代を地域活動につなげていくためのイベントの具体化

- ・地区別懇談会では、若い世代や子育て世代の男性に地域活動へ参加してもらう方法等を話し合ってきました。
- ・2020年度の地区別アンケートでは、コロナ禍であっても親子向けのイベントへの参加希望は高いことが分かりました。
- ・地区別アンケート結果を踏まえた今後の方向性では、イベントをきっかけとして、子育て世代に地域に関心を持ってもらうとしています。
- ・2022年度は10月に町田第二地区協議会主催で地域交流イベント「まち2フェス」in シバヒロが開催され、多くの家族連れの来場がありました。
- ・以上のことから、今後もイベントを具体的に検討・開催していくことが考えられます。

②誰でも立ち寄れる身近な居場所の充実

- ・集合住宅に住む人が多く、町内会・自治会の加入率は低下しています。
 - ・地区のふれあいサロン・子育てサロンは5か所あります。
 - ・市民アンケートからもつきあいが少ない人が多いことがうかがえます。
- ①と並行して、子育て世代だけでなく、地域とつながりがいい人も立ち寄れる居場所を充実していくことが考えられます。

③地域と関係機関の連携による困りごとを抱える人を支える体制づくり

- ・高齢化が進んでいるだけでなく、支援を必要とする要介護認定者数、障がい者数が増加しています。
 - ・市民アンケートでは、「福祉・保健の相談体制」、「課題共有の組織・団体」、「支える人支えられる人を調整する人・機関の充実」が全体より高く、福祉意識の高まりがうかがえます。
- 以上のことから、地域と関係機関が連携して、困りごとを抱える人を支える体制づくりを検討していく必要があります。

市民アンケート調査
P.17-21 参照

- 近所つきあいをしていない人の割合が1割を超えていること、住民同士の協力関係が必要と考える人が少ないこと、隣近所などのおつきあい、町内会・自治会の活動の満足度の低さについては、住まいの形態において集合住宅の割合が高いことが関係していると考えられます。
- 地域で安心して暮らしていくために重要なことでは、「地域の福祉・保健の相談体制」が、住民同士の協力関係をつくるために必要なことでは、「課題共有の組織・団体があること」、「支える人支えられる人を調整する人・機関の充実」が全体より高くなっており、高齢化等の地区内の課題が関係して、福祉に対する意識が高くなっている可能性があります。

2. 地区の概要・現状データ

＜町田第二地区の該当町名＞

旭町 1～3 丁目、中町 1～4 丁目、藤の台 1～2 丁目（旧本町田の一部）、森野 1～6 丁目、本町田

（１）５年間の地区の変化と市全体との比較

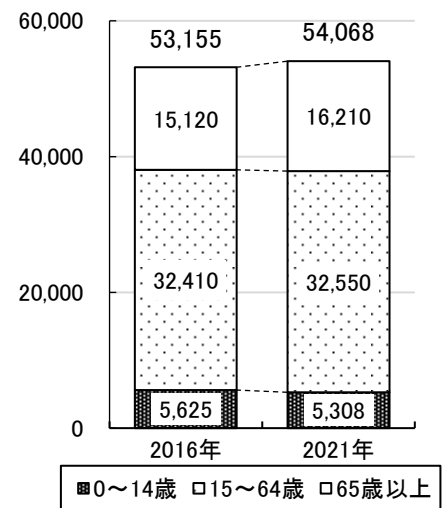
＜５年間の地区の変化＞

- 75歳以上人口（後期高齢者）の増加
(P.4「人口」参照)
- 世帯数の増加
(P.4「世帯」参照)
- 要介護認定者数の増加 (P.4「要介護認定者数」参照)

＜町田市全体との比較＞

- 市全体より65歳以上人口の割合が高い
(P.4「人口」参照)
- 町内会・自治会連合会加盟団体への世帯加入率は10ポイント以上低い (P.4「町会・自治会」参照)

地区別人口の変化



（２）町田第二地区の概要

＜人口＞（2021年10月1日現在）

- 54,068人
(14歳以下の割合：9.8%、65歳以上の割合：30.0%)

＜特徴＞

- 町田駅周辺は市街地としてにぎわう一方、落ち着いた住宅地も広がっている。
- 75歳以上人口の割合、要介護認定率、障がい者数の割合がいずれも市平均より高くなっている。
- アパートやマンションが多く、町内会・自治会への加入率が低い。

＜主な資源＞

- ・駅：1 駅（小田急線町田駅）
- ・高校・大学：高校1 校
- ・高齢者支援センター：2 か所
- ・あんしん相談室：1 か所
- ・子どもセンター：1 か所

(3) 町田第二地区の現状データ

		町田第二地区		町田市全体	
		2016年度	2021年度	2016年度	2021年度
人口	地区内総人口	53,155人	54,068人	428,203人	430,607人
	0～14歳	5,625人 (10.6%)	5,308人 (9.8%)	55,977人 (13.1%)	51,516人 (12.0%)
	15～64歳	32,410人 (61.0%)	32,550人 (60.2%)	261,697人 (61.1%)	262,247人 (60.9%)
	65歳以上	15,120人 (28.4%)	16,210人 (30.0%)	110,528人 (25.8%)	116,844人 (27.1%)
	75歳以上（再掲）	7,651人 (14.4%)	<u>9,443人</u> (17.5%)	53,117人 (12.4%)	63,573人 (14.8%)
世帯	世帯数	26,608世帯	28,648世帯	192,005世帯	202,737世帯
	世帯あたり人口	2.00人	1.89人	2.23人	2.12人
要介護認定者数	要支援1	423人	640人	2,773人	4,170人
	要支援2	324人	411人	2,057人	2,500人
	要介護1	678人	839人	4,327人	5,435人
	要介護2	496人	486人	3,398人	3,411人
	要介護3	302人	402人	2,394人	2,734人
	要介護4	279人	360人	2,224人	2,841人
	要介護5	274人	295人	2,057人	2,131人
	合計	2,776人	<u>3,433人</u>	19,230人	23,222人
	参考:要介護認定率 ※1	18.4%	21.2%	17.4%	19.9%
認知症高齢者数 ※2		1,408人	1,050人 ※6	10,040人	7,286人 ※6
障がい者数 ※3	身体障がい	1,668人	1,629人	11,808人	11,544人
	知的障がい	393人	444人	3,117人	3,253人
	精神障がい	577人	833人	3,698人	5,378人
	合計	2,638人	2,906人	18,623人	20,175人
	人口に占める割合	5.0%	5.4%	4.3%	4.7%
自治会 ※4 町内会・	団体数	35	34	226 (309)	220 (310)
	加入世帯数	8,957世帯	8,349世帯	89,566世帯 (103,595世帯)	83,872世帯 (98,255世帯)
	加入率	33.8%	<u>29.2%</u>	47.0% (54.3%)	<u>41.6%</u> (48.8%)
団地	参考: 団地人口 ※5	15,049人	13,694人	36,225人	32,997人
	参考: 団地世帯 ※5	8,799世帯	8,505世帯	20,525世帯	19,905世帯

○人口、世帯数：各年10月1日現在（住民基本台帳に基づく）

○要介護認定者数、認知症高齢者数：各年10月1日現在

○障がい者数：2016年は10月17日現在／2021年の身体・知的は10月1日現在、精神は2月7日現在（実績値）

○町内会・自治会：4月1日現在

◆備考◆

※1 要介護認定率は参考数値（要介護者数に64歳以下も含むため）

※2 要支援1～要介護5を持つ方のうち、日常生活自立度Ⅱ以上の方

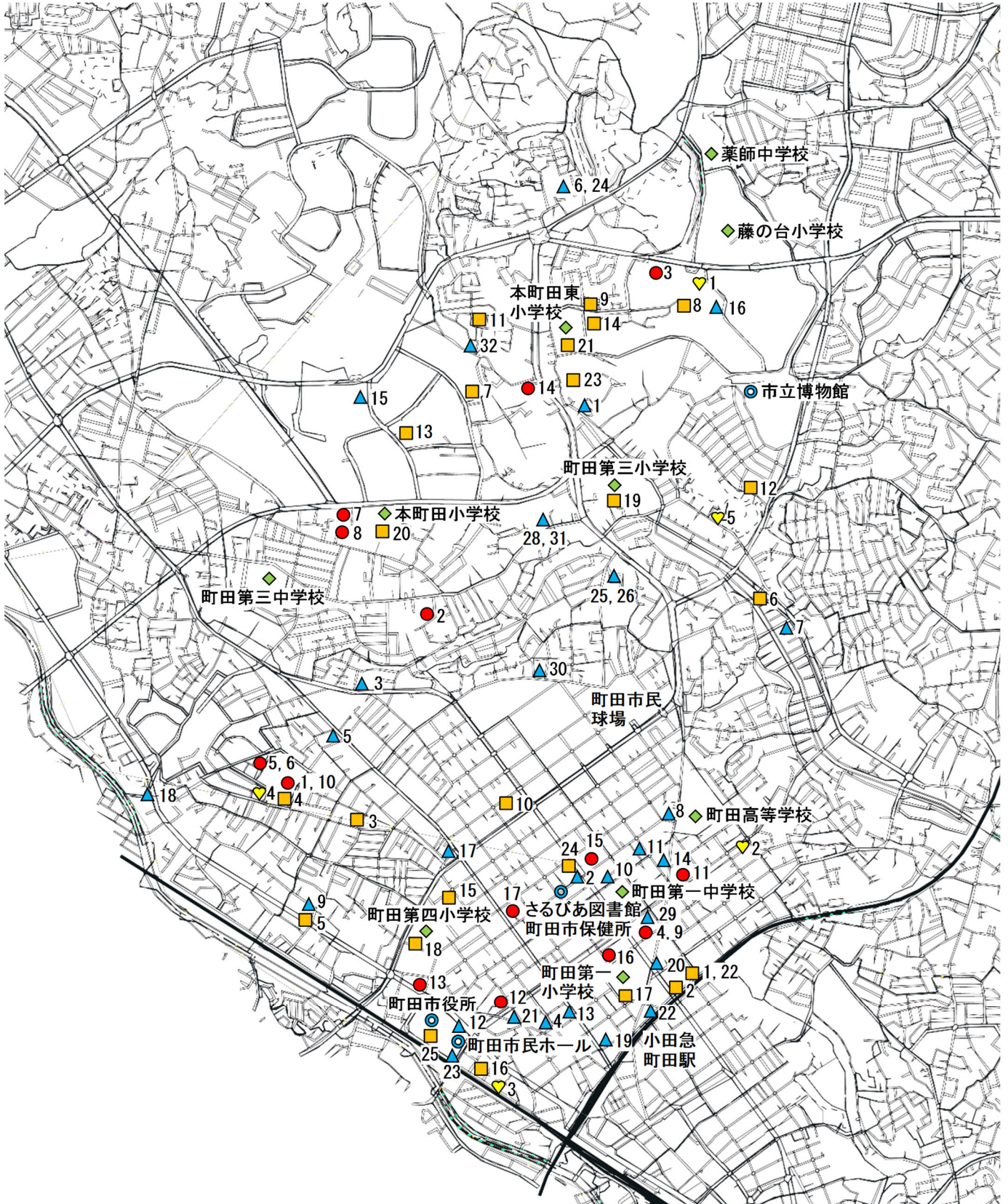
※3 障害者手帳の所持数

※4 町田市町内会・自治会連合会に加盟している団体数（ ）内は非連合を含めた値

※5 各年10月1日現在。町田第二地区の数値は、該当町名を含む団地人口・世帯の合計（本町田住宅（本町田・南大谷）、町田木曽住宅（本町田・木曽東4丁目）、森野住宅（森野1丁目）、藤の台団地（藤の台1・2・3丁目））。市全体は、東京都住宅供給公社と都市再生機構の団地人口・世帯の合計。

※6 2021年の認知症高齢者数は、新型コロナウイルス感染症の特例で、介護度をそのまま1年延長している方は主治医意見書が提出されていないことと、認定調査を実施していないため、前年よりも認定者数が少ない数値となっています。

3. 地区資源マップ



【地区資源リスト】

●子ども・子育て関係の施設(■)

<地域子育て相談センター>

- 1 町田地域子育て相談センター

<保育園>

- 2 未来保育 CLUB
- 3 森野三丁目保育園
- 4 もりの聖愛保育園
- 5 光の森保育園
- 6 本町田わかさ保育園
- 7 わかば保育園
- 8 草笛保育園
- 9 開進こども保育園

<幼稚園>

- 10 町田文化幼稚園
- 11 町田こばと幼稚園
- 12 山ゆり幼稚園

<認定こども園>

- 13 認定こども園 さふらん幼稚園
- 14 認定こども園 開進幼稚園

<小規模保育事業所>

- 15 たけとんぼ保育園
- 16 さくらんぼ保育園

<学童保育クラブ>

- 17 中央学童保育クラブ
- 18 森野学童保育クラブ
- 19 竹ん子学童保育クラブ
- 20 本町田学童保育クラブ
- 21 藤の台学童保育クラブ

<子どもセンター・子どもクラブ>

- 22 子どもセンターまあち

<その他>

- 23 青少年施設ひなた村
- 24 町田市子ども発達センター
- 25 子ども家庭支援センター

●高齢者・介護保険関係の施設(●)

<相談>

- 1 町田第1 高齢者支援センター
- 2 町田第2 高齢者支援センター
- 3 本町田あんしん相談室

<小規模多機能型居宅介護>

- 4 小規模多機能なかまち
- 5 優っくり小規模多機能介護町田森野

<認知症グループホーム>

- 6 優っくりグループホーム町田森野
- 7 グループホーム悠々園
- 8 グループホーム悠々園Ⅱ
- 9 グループホームなかまち

<特別養護老人ホーム>

- 10 コモンズ

<有料老人ホーム>

- 11 櫻乃苑町田中町
- 12 グランダ町田
- 13 グランダ町田貳番館
- 14 リアンレーヴ本町田

<有料老人ホーム(住宅型)>

- 15 老人ホームなかまち
- 16 グッドタイムリビング町田中町
- 17 グッドタイムホーム・町田

●障がい者・福祉関係の施設(▲)

<計画相談支援>

- 1 みずきの会ケアマネクラブ
- 2 町田市子ども発達センターすみれ教室
- 3 相談支援センターアイケア
- 4 相談支援センターk o k u a
- 5 セレリアンス・サポート町田

<短期入所>

- 6 ショートステイ オリーブ

<生活介護(通所)>

- 7 プラスアルファ
- 8 ぴっころもんど
- 9 MERRILY

<自立訓練>

- 10 Cocorport college 町田キャンパス

<就労移行・継続支援>

- 11 森工房(サエラ)→サエラ
- 12 ウェルビー町田市役所前センター
- 13 ウェルビー町田駅前センター
- 14 スワンカフェ&ベーカリー町田1号店
- 15 クローバーの会
- 16 黎音
- 17 ラ・ドロン
- 18 しんわ町田事業所
- 19 ルミノーズ町田
- 20 ルミノーズ町田シバヒロ前
- 21 ワン・ブリッジ町田
- 22 ディーキャリア町田オフィス

<共同生活援助(グループホーム)>

- 23 カブス
- 24 オリーブ
- 25 しんわ本町田第一ホーム
- 26 しんわ本町田第二ホーム
- 27 しんわ本町田第三ホーム
- 28 しんわ本町田第四ホーム
- 29 ディスカバリーホーム
- 30 希望の樹 SAKURA 1・2
- 31 しんわ本町田第五・六・七ホーム
- 32 グループホームわおん本町田1号館

●ふれあいサロン・子育てサロン(♥)

<ふれあいサロン>

- 1 藤の台ふれあいサークル
- 2 ふれあいサロン奏~かなで~
- 3 線路沿いのエンドウマメ
- 4 ふれあいサロン森野

<子育てサロン>

- 5 子育てサロン たっち

【資源マップ上記載の凡例】

●教育施設(◆)

●その他の公共施設(●)

4. 地区協議会の取組み

(1) 地区協議会とは

地区の特性と資源をいかして、地区の課題を自ら解決し、さらに魅力発信や向上に主体性を持って取り組む団体同士のネットワークです。

(2) 設立日・構成団体

<設立日>

- 2014年12月17日（市内2地区目）

<構成団体>

- 町田第二地区町内会・自治会連合会（34町内会・自治会）、青少年健全育成町田中央地区委員会、青少年健全育成森野地区委員会、青少年健全育成本町田地区委員会、青少年健全育成薬師地区委員会、町田第一地区民生委員児童委員協議会、町田第二地区民生委員児童委員協議会、町田第一小学校、町田第三小学校、町田第四小学校、本町田東小学校、本町田小学校、藤の台小学校、町田第一中学校、薬師中学校、町田高等学校、町田第1高齢者支援センター、町田第2高齢者支援センター、町田市消防団第1分団、町田市社会福祉協議会、町田デザイン&建築専門学校（21団体）

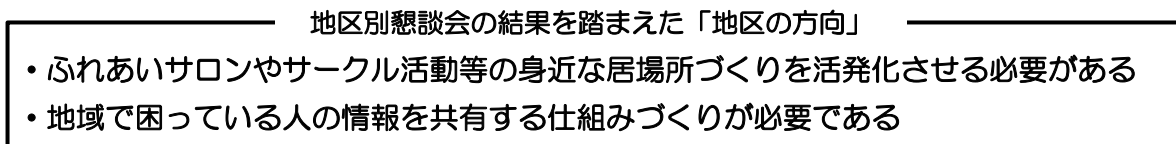
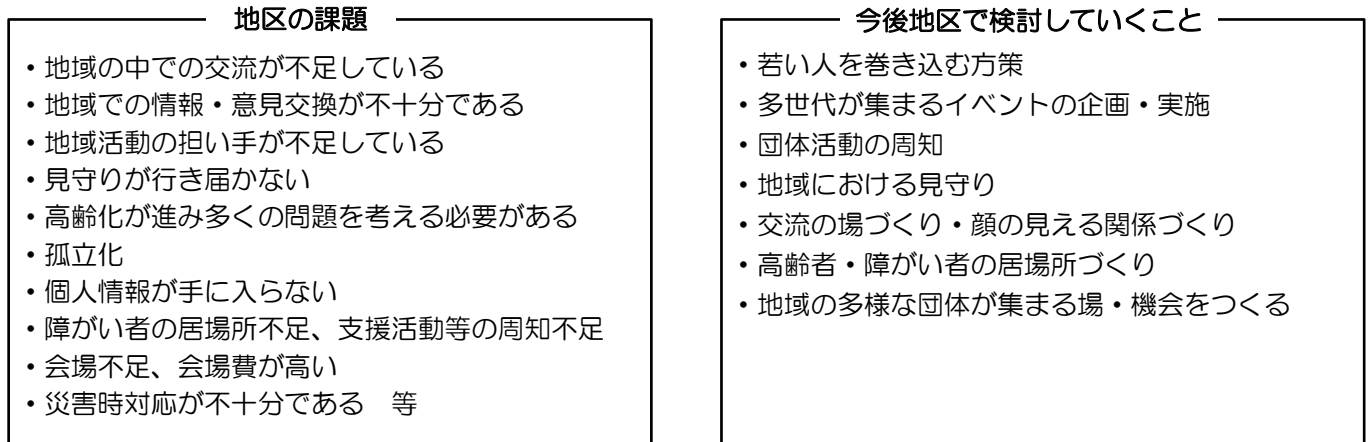
(3) 地区協議会のこれまでの主な取組み

事業名	概要	詳細（事業目的など）
連携促進事業	・広報紙の発行 ・活動のPR ・「中央公園さくらまつり」の開催 ・「まち2フェス」の開催	他事業を円滑に進めるため、地区内の団体間の連携を促進する。地区内で活動するさまざまな団体及びその活動状況を地域住民に情報発信し、地域とのつながりを意識してもらい、地域活動への参加を促す。
子どもの見守り事業	・下校時いっせい見守りの実施 ・見守り啓発ポスター作成 ・PTAとの情報交換会開催	地域全体で子どもの見守り活動に取り組むことで、参加団体間の連携を強め、参加団体の拡大や支援者の増加を図り、地域の交通安全、防犯等に対する体制を整え、子どもたちが安全に安心して登下校できる地域をつくる。
高齢者の見守り事業	・見守り活動啓発チラシ作成・配布 ・認知症講演会開催	高齢者が安心して住み慣れた地域で生活を送れるよう見守り活動を充実していく。 認知症高齢者の増加が見込まれるなか、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、認知症を知り、町田市の認知症に関する取り組みを学ぶ。また、高齢社会と地域づくりについて意見交換を行う。
防災・防犯事業	・見守り活動啓発チラシ作成・配布 ・認知症講演会開催	町田第二地区協議会の各団体が一体となり防犯活動に取り組むことにより、地域の防犯力を向上させる。

5. 地区別懇談会の経過

(1) 町田第二地区 地区別懇談会

① 第3次町田市地域福祉計画策定のための住民懇談会（2016年1月）

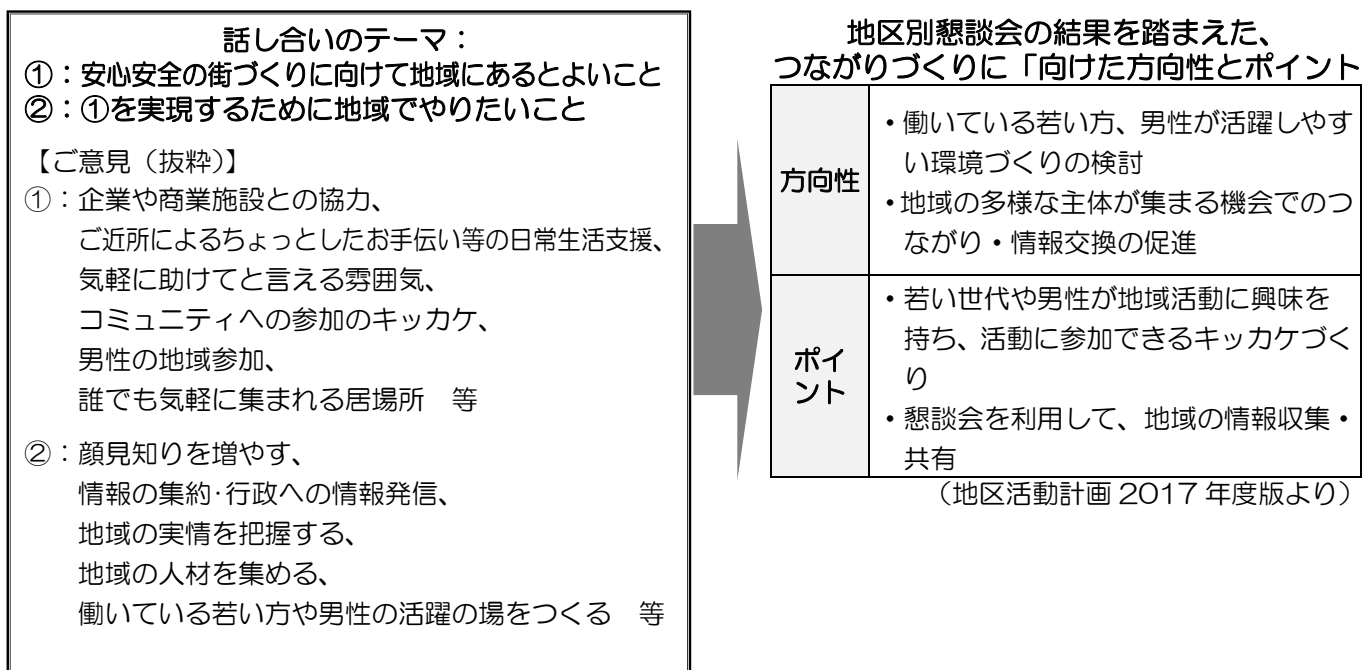


（第3次町田市地域福祉計画 第2部地区活動計画より）

※ 2017年度以降、第3次町田市地域福祉計画、町田市社会福祉協議会の第四次地域福祉活動計画に基づいて、市内10地区で地区別懇談会を開催しています。

② 2017年度 地区別懇談会

地区別懇談会のテーマ：
安心安全のまちづくりに向けた住民同士のつながりづくり



③ 2018 年度 地区別懇談会

地区別懇談会のテーマ：
若い世代や男性が地域活動に興味を持ち、活動に参加できるきっかけづくり

話し合いのテーマ：
若い世代や男性が地域活動に参加しやすくなる
ために地域でできること

【ご意見（抜粋）】

- ・気軽なラフなつながり、イベント（多様・季節ごとのイベント、休日のイベント、親子で参加できるイベント）、情報提供、情報発信、気軽に参加できるしくみ、雰囲気・きっかけづくり、学生にも参加してもらう、有償ボランティア、メリットを知らせる、知識・技能を活用できる場、地域の会社へ協力を求める、活動のマニュアル化 等

地区別懇談会の結果を踏まえた、
今後の方向性と具体的取組み

方向性	・無理なく気軽に地域の活動に参加ができるよう、ラフなつながりづくり。
具体的取組み	・地域のイベントなどの情報を SNS で発信し、気軽に情報入手できるようにする ・若い世代や男性のつながりづくり ・町田第二地区を小エリアに分けた住民懇談会の実施

（地区活動計画 2018 年度版より）

2018 年度の地区別懇談会は、各グループのテーブルに 1 人ずつ現役世代の男性に入ってもらい、地域活動に参加が難しい理由と参加しやすくなる条件を話し合っていました。

④ 2019 年度 地区別懇談会

地区別懇談会のテーマ：お父さんが活躍できる場づくり

話し合いのテーマ：
多様なイベントや、気軽に参加できるしくみ
づくりから、お父さんたちの活躍の場を増やす

【ご意見（抜粋）】

ラフなつながりづくり：

- 誘い合う・声かけ、楽しくてほっとできる場づくり、イベントはなんでもいい共通の話題ができればつながれる

情報提供・情報発信：

- SNS、ママたち、子どもたちが幼い時からみえる・みやすい・みせる・みせたいになる

あったら楽しいイベント：

- 料理、ゲーム、スポーツ、実験・ものづくり、アウトドア、もちつき

得意なことを活かせる場：

- 得意なこと — 参加しやすい、イベント・お祭り、休みの時に、子どもと、防災訓練場所、情報発信

世代間交流：

- イベント、交流、場づくり、きっかけづくり、課題

地区別懇談会の結果を踏まえた、
今後の方向性と具体的取組み

方向性	・気軽に参加できるイベントを通してお父さん同士のつながりづくりを検討します。 ・地域のイベントなどの情報発信の方法を検討します。
具体的取組み	・親子で楽しめるイベントを企画・実施します。 ・SNS による情報発信を進めます。

（地区活動計画 2019 年度版より）

2019 年度の地区別懇談会は、話し合いと合わせて、「町田第一小学校お父さんネットワーク」の協力のもと、参加者やそのお子さんたちと一緒に新聞紙ドーム作りのイベントを行いました。



⑤ 2020 年度 町田第二地区 コロナ禍における活動についてのアンケート

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため 10 地区すべてで地区別懇談会の開催を中止し、地区ごとにアンケート調査を実施しました。

当アンケート調査では、これまでの地区別懇談会で話し合いを行ってきた地域における若い男性、お父さんの活躍の場を踏まえて、地区内の保育園・幼稚園に通う子どもの保護者に対して、「親子で楽しめるイベント」等を聞いています。

【回答者の基本属性】

図表 回答者の性別

		113件回答
1	男性	8.8
2	女性	91.2
3	その他	0.0
	無回答	0.0

図表 回答者の年齢

		113件回答
1	10代	0.0
2	20代	10.6
3	30代	46.0
4	40代	39.8
5	50代	2.7
6	60代	0.9
7	70代	0.0
8	80歳以上	0.0
	無回答	0.0

【地区別懇談会についてのご意見】

図表 地区別懇談会への参加意向

		113件回答
1	是非参加したい	3.5
2	機会があったら参加したい	48.7
3	参加は希望しない	47.8
	無回答	0.0

図表 参加しやすい日時（複数回答）

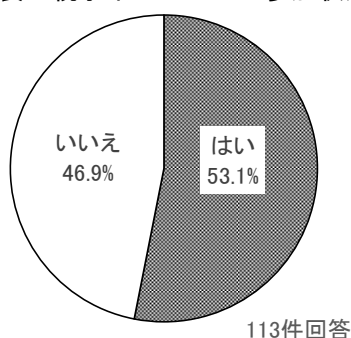
		113件回答
1	平日（月曜～金曜）の午前	23.7
2	平日（月曜～金曜）の午後	8.5
3	平日（月曜～金曜）の夜間	5.1
4	土曜日の午前	44.1
5	土曜日の午後	33.9
6	土曜日の夜間	3.4
7	日曜・祝日の午前	39.0
8	日曜・祝日の午後	37.3
9	日曜・祝日の夜間	3.4
	無回答	0.0

【親子で楽しめるイベントについて】

●親子イベントへの参加状況

半数以上が地域の親子イベントに参加したことがあると回答しています。

図表 親子イベントへの参加状況



●参加したイベント（親子イベントに参加したことがある人）（自由回答の抜粋）

<保育園・幼稚園のイベント>

- ・保育園のイベント。
- ・保育園の子育て広場。
- ・保育園や幼稚園のイベント。

<地域のイベント>

- ・自治会のイベント。
- ・南大谷子供クラブのイベント。
- ・焼き芋イベント。
- ・どんど焼き。
- ・ハロウィンウォーキング。

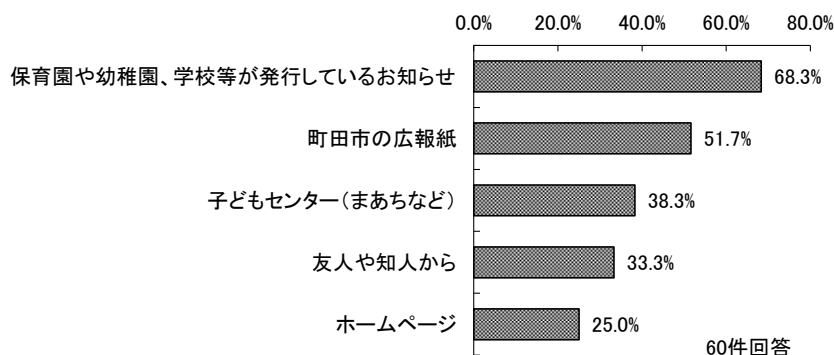
<施設等のイベント>

- ・日向村のイベント。
- ・図書館の読み聞かせ会。

●イベントの主な情報の入手先

「保育園や幼稚園、学校が発行しているお知らせ」が7割弱となっています。

図表 イベントの主な情報の入手先（上位5位）
（親子イベントに参加したことがある人、複数回答）



●地域の親子イベントの情報について具体的な入手先

（親子イベントに参加したことがある人）（自由回答の抜粋）

<子ども関係施設>

- ・保育園（ホームページ、掲示板、チラシ等）。
- ・子どもセンターまあち。
- ・学校（持ち帰ってきた情報誌等）。
- ・児童館。

<子ども関係のサイト等>

- ・まちだ子育てサイト。
- ・町田市ホームページ。
- ・子育てひろばカレンダー。

<市の施設等>

- ・市民センター。
- ・生涯学習センターに行くのでその時に情報を得ています。
- ・図書館に置いてあるチラシ。

<地域>

- ・自治会の回覧板。
- ・スーパー内のポスター。
- ・病院
- ・団地の掲示板。
- ・郵便局。

<友人等>

- ・友人から聞いて参加しました。
- ・町田市で子育て中の人たちが集まる SNS グループでの情報共有。

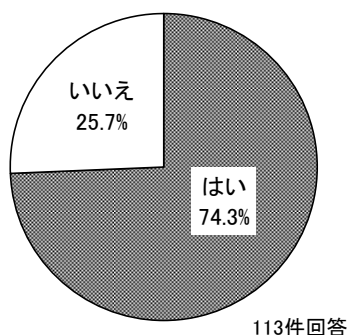
<広報紙等>

- ・地域別広報紙。
- ・新聞の折り込み。
- ・地域の子育て情報誌。

●コロナ禍でも楽しめる地域の親子イベントの開催希望

7割以上が地域の親子イベントの開催を希望しています。

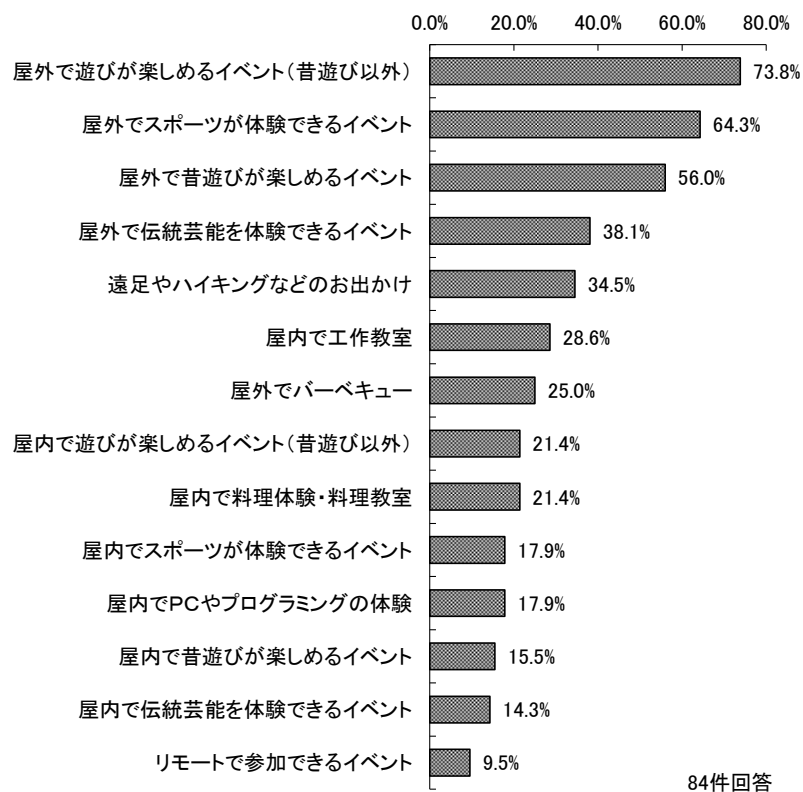
図表 コロナ禍でも楽しめる地域の親子イベントの開催希望



●希望するイベントの内容

上位5位まで屋外での遊びやスポーツ等のイベントが占めています。

図表 希望するイベントの内容
(コロナ禍でも楽しめる地域の親子イベントの開催を希望する人、複数回答)



●具体的にあっという間と思うイベントや参加したいイベント

（コロナ禍でも楽しめる地域の親子イベントの開催を希望する人）（自由回答の抜粋）

<地域の行事・イベント>

- ・お祭り。
- ・餅つき。
- ・焼き芋。
- ・幼稚園児や小学生が中心のハロウィンイベント。

<体を動かすイベント>

- ・ハイキング、森で木登り。
- ・水遊び。
- ・身体を動かして、他人と交流できる遊びが良いです。

<モノづくり等>

- ・物の製作など。
- ・野菜の収穫体験など。
- ・大きな子供向けに、屋外での工作遊びや、それを使った身体を動かせる遊びがあるといいなと思います。

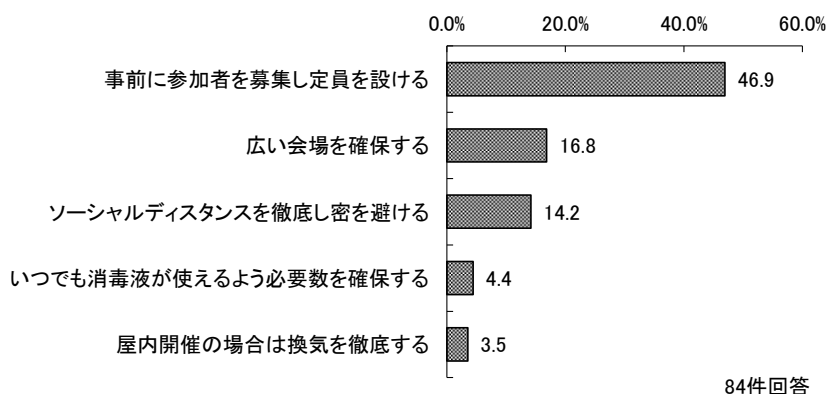
<親子で楽しめるイベント>

- ・親子料理教室。
- ・親子体操教室。

●コロナ禍でも楽しめる地域の親子イベントの開催に必要なこと

上位5位まで屋外での遊びやスポーツ等のイベントが占めています。

図表 コロナ禍でも楽しめる地域の親子イベントの開催に必要なこと
（上位5位）（複数回答）



●コロナ禍における親子で楽しめるイベントについて考え（自由回答の抜粋）

<感染対策>

- ・人数制限、消毒の徹底、飲食なしであれば行きたいです。
- ・感染対策をしっかりとった上で開催されていれば、あとは参加するかどうか個人が判断すれば良い。
- ・手遊び、紙芝居読み聞かせなどをネットで見られるようにしてほしい。

<具体的なイベント例>

- ・BBQ やキャンプして自然を感じたり学べたりしたらいいと思います。
- ・音楽鑑賞など。
- ・会話が少ない遊び。

<開催日>

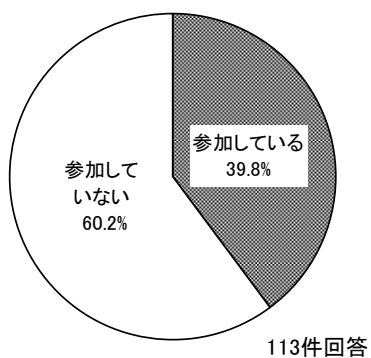
- ・土日ばかりの開催でほとんど参加できません。平日の開催も検討して欲しいです。

【地域活動について】

●地域活動への参加状況

参加している人は4割弱となっています。

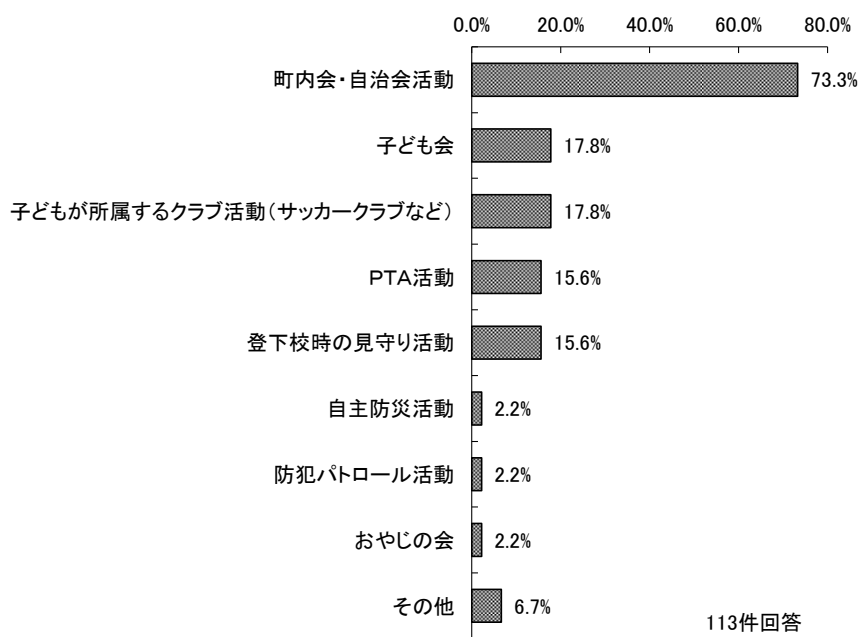
図表 地域活動への参加状況



●参加している活動

町内会・自治会活動が7割強と最も多くなっています。

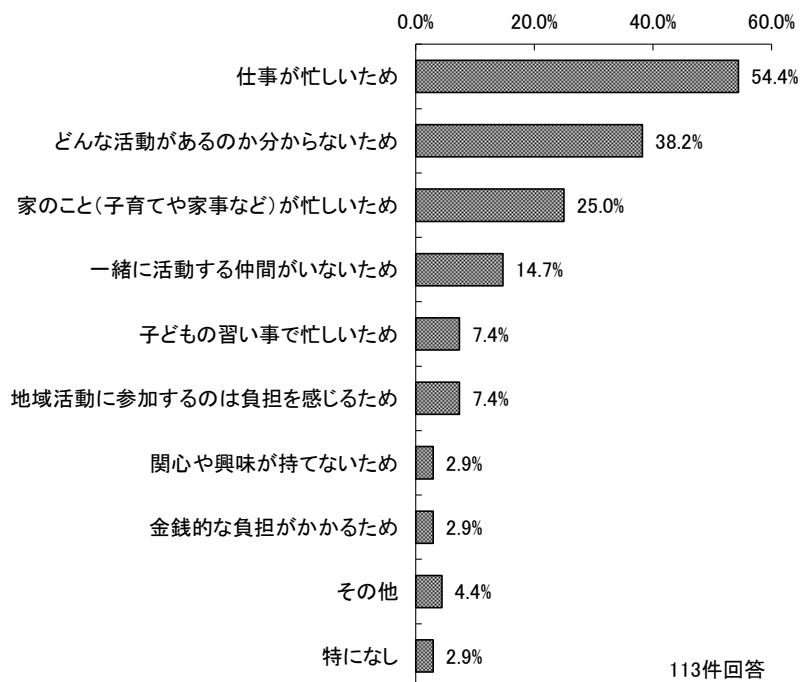
図表 参加している活動（地域活動に参加している人、複数回答）



●参加していない理由

仕事が忙しいためが5割半ばで最も多く、次いでどんな活動があるのか分からないが3割後半となっています。

図表 参加していない理由（地域活動に参加していない人、複数回答）



アンケート結果を踏まえた今後の方向性・具体的取組み

方向性	・親子で参加できるイベントを通して、お父さんを含めた子育て世代が地域に興味を持つきっかけづくりを進めていきます。
具体的取組み	・アンケート結果を踏まえ、コロナ禍でも参加できるイベントを企画します。

（地区活動計画 2020 年度版より）

(2) 5年間を通して生まれた取組み

- 町田第二地区の地区別懇談会では、子育て世代の男性がどうしても地域活動に興味を持ち参加できるかに
ついて話し合いを行ってきました。
- 2018年度の地区別懇談会では、現役世代の男性にも参加いただき、どうしても参加しやすくなるのかを
話し合いました。「親子で参加できるイベント」「好きな時に参加できる」など、ゆるやかに参加できる仕
組みづくりが必要ではないかという意見が出ました。
- 2019年度の地区別懇談会では、町田第一小学校お父さんネットワークの協力のもと新聞紙ドームづくり
を行い、話し合いだけでなく親子で参加できるイベントも織り交ぜながら、親子や参加者同士の交流の時
間も入れました。後半の話し合いでは、「親子で楽しめるイベントならお父さんも参加しやすいのでは」と
いう意見がたくさん出ました。
2月に、親子で気軽に参加できるイベントとして、町田第一小学校お父さんネットワークと合同で町
田第一小学校の校庭を使って焼き芋イベントを実施しました。多くの親子が参加し、寒空の中ほくほ
くのおいもを片手に、たき火にあたりながら楽しいひと時を過ごしました。
- 2022年度は10月に町田第二地区協議会主催で地域交流イベント「まち2フェス」in シバヒロが開催さ
れました。ミニ運動会やゲームコーナー、子どもたちのダンスやハーモニカ演奏等のステージなど、多くの
家族連れの来場があり、楽しい地域交流の機会となりました。
- アンケート結果を踏まえながら、今後も、地域活動に興味を持ってもらえるきっかけづくりとして、親子
で気軽に参加できるイベントを地域で開催できるよう検討していきます。



▲ 町田第一小学校お父さんネットワークと
合同で実施したヤキイモイベントの様子



▲ 「まち2フェス」in シバヒロ
のチラシ

6. 市民アンケート調査の地区別集計結果

（仮称）町田市地域ホッとプラン策定の基礎資料とするため、地域福祉に関する生活実態やご意見などを把握することを目的として、アンケート調査を実施しました。

調査対象：18歳以上の町田市内在住者 2,000 人

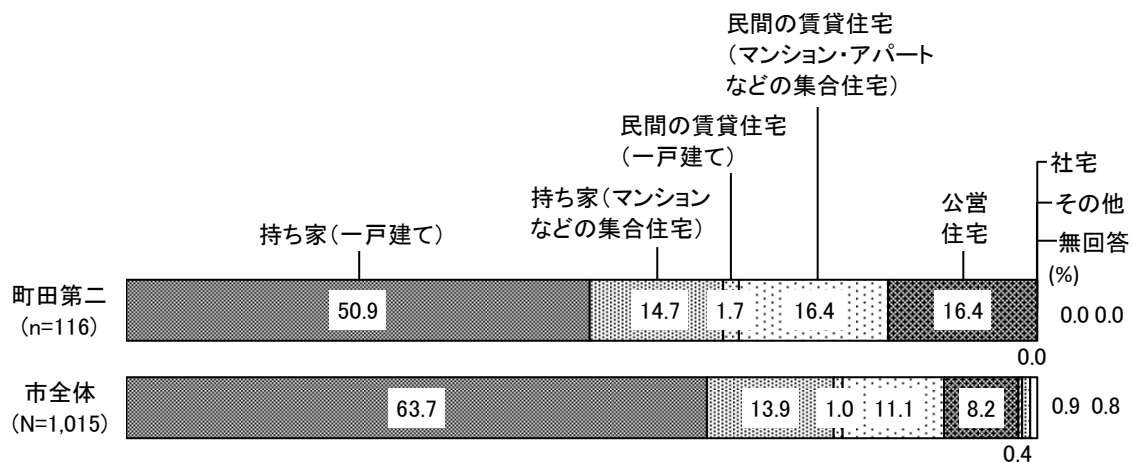
調査時期：2020 年 2 月から 3 月

（１）基本属性

- ・ 年齢は平均 59.9 歳（全体は 58.6 歳）、職業は就労していない人が 47.4%（全体は 43.8%）である。

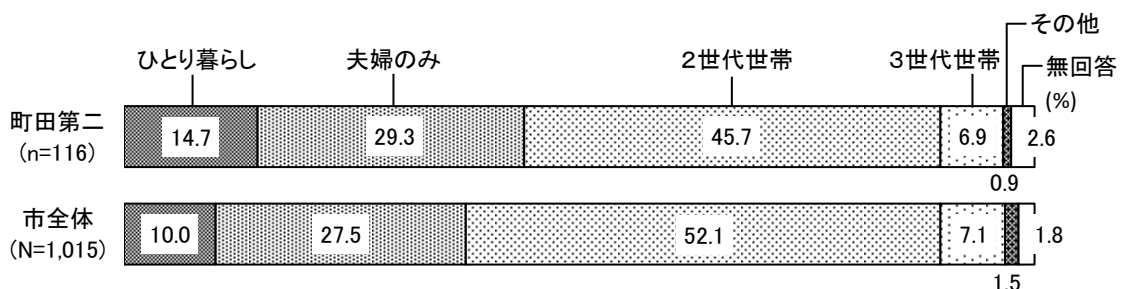
◆住まいの形態

- ・ 住まいの形態は「持ち家（マンションなどの集合住宅）」、「民間の賃貸住宅（マンション・アパートなどの集合住宅）」、「公営住宅」の割合を合計すると 47.5%で、集合住宅が半数近い割合を占めている。



◆家族構成

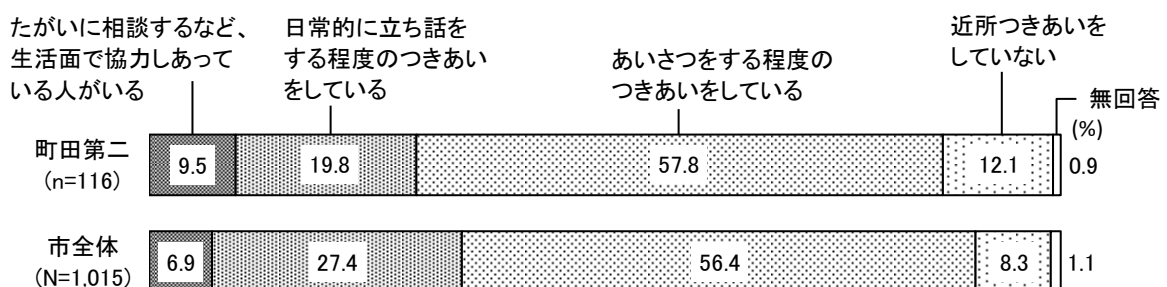
- ・ 家族構成は「ひとり暮らし」が 14.7%で、全体と比較して 4.7 ポイント高くなっている。



（２）地域での暮らし

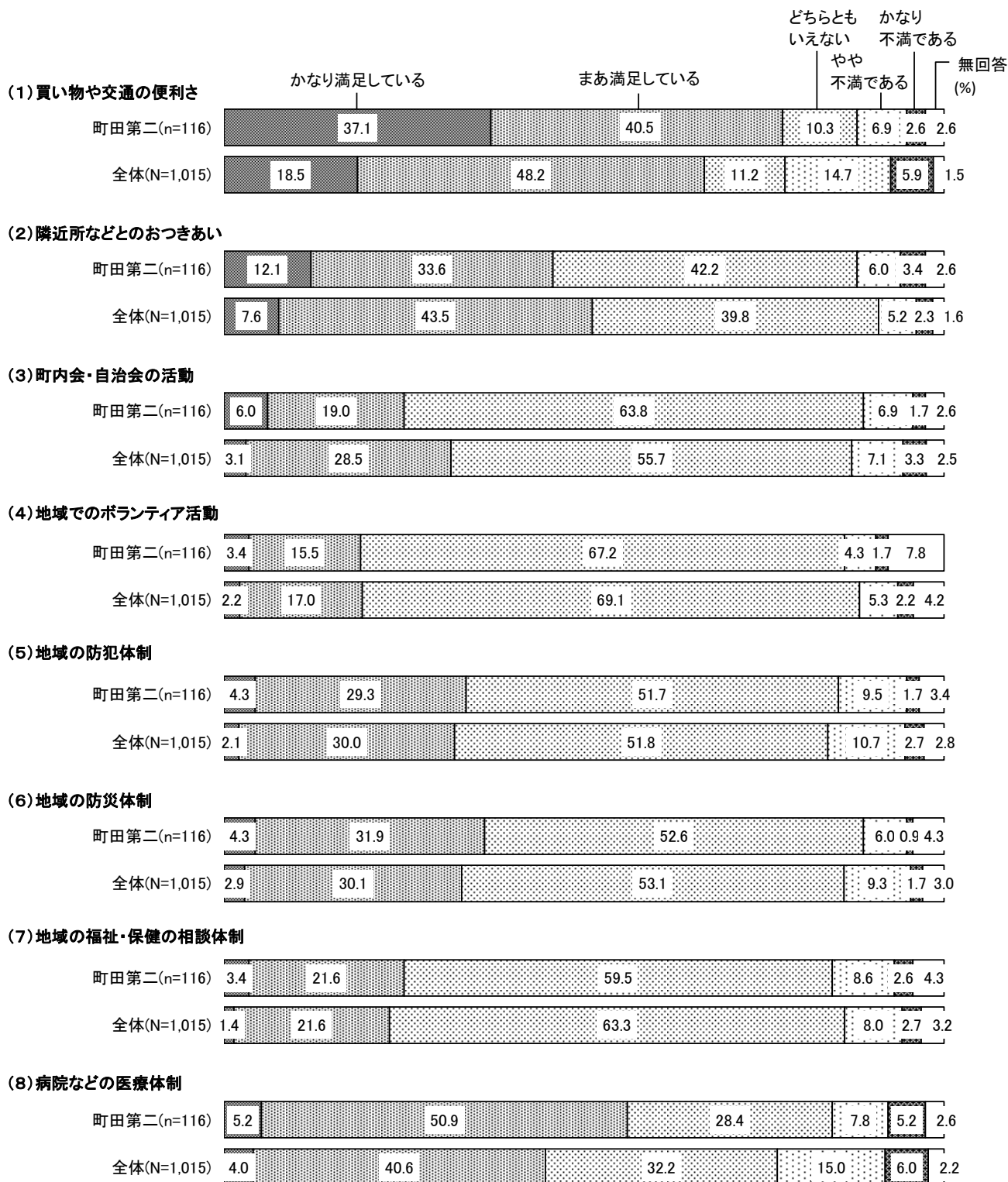
◆近所つきあいの程度

- ・ 近所つきあいの程度は「近所つきあいをしていない」が 12.1%で 1 割を超えている。



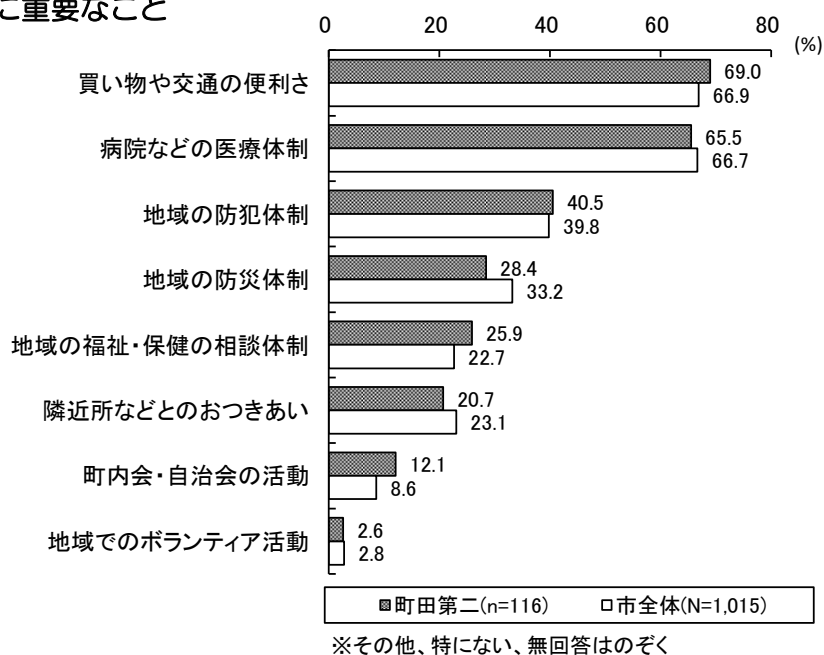
◆地域の暮らしやすさについての満足度

- ・ 地域の暮らしやすさについて、「かなり満足している」と「まあ満足している」を合計した割合は、『買い物や交通の便利さ』は7割後半、『病院などの医療体制』は5割後半となっている。
- ・ 『地域の防犯体制』、『地域の防災体制』、『地域の福祉・保健の相談体制』は、全体と比較して満足度が高い。
- ・ 一方で、『隣近所などのおつきあい』、『町内会・自治会の活躍』は、全体と比較して低い。



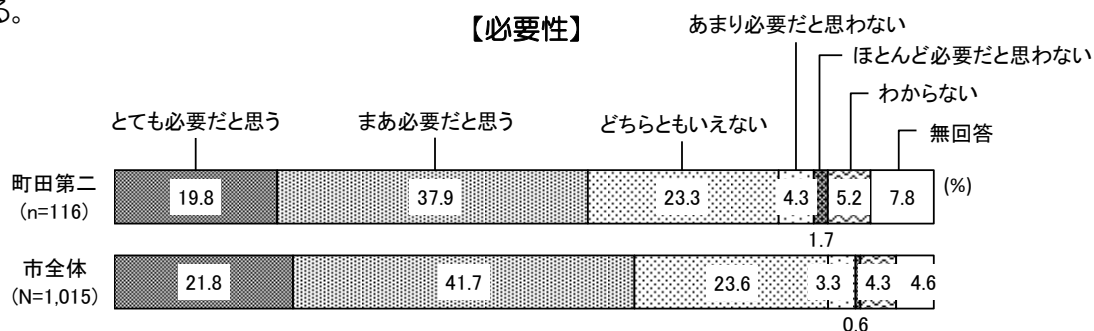
◆地域で安心して暮らしていくために重要なこと

- ・ 地域で安心して暮らしていくために重要なことは、「買い物や交通の便利さ」が最も多く、「病院などの医療体制」、「地域の防犯体制」が続いており、上位3項目は全体と同様である。
- ・ また、「町内会・自治会の活動」の割合は全体を3.5ポイント上回り、「地域の防災体制」の割合は全体を4.8ポイント下回っている。

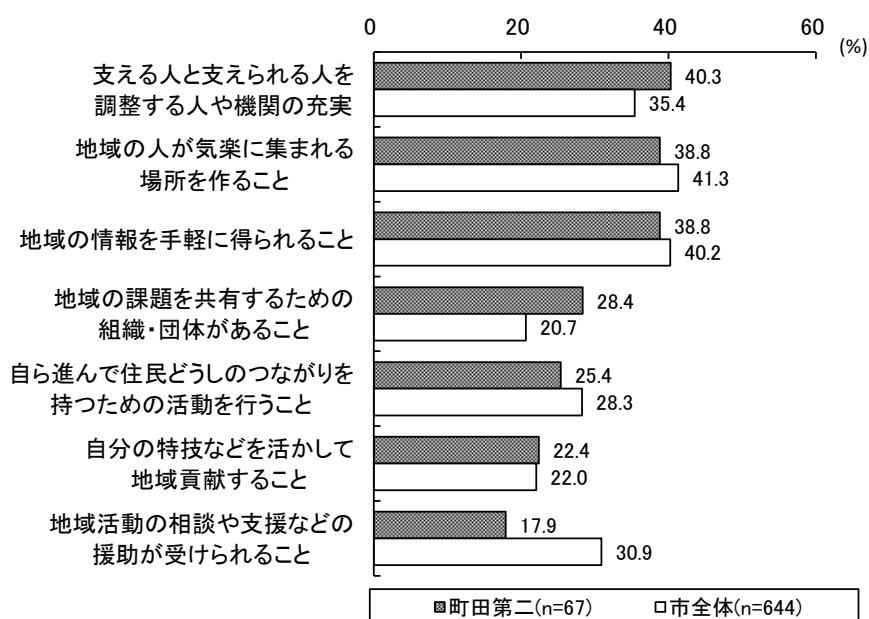


◆住民同士の自主的な協力関係の必要性、協力関係をつくるために必要なこと

- ・ 住民同士の自主的な協力関係の必要性について、「とても必要だと思う」と「まあ必要だと思う」と回答した人の合計は57.7%であり、全体を5.8ポイント下回っている。
- ・ 必要だと思うと回答した人に、必要なことをたずねたところ、「支える人と支えられる人を調整する人や機関の充実」が最も多くなっている。また、「地域の課題を共有する組織・団体があること」は全体を大きく上回り、「地域活動の相談体制や支援などの援助が受けられること」は全体を大きく下回っている。



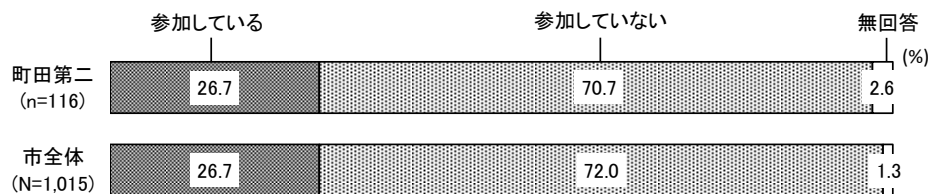
【協力関係をつくるために必要なこと】＜必要だと思う人＞



(3) 地域活動・ボランティア活動

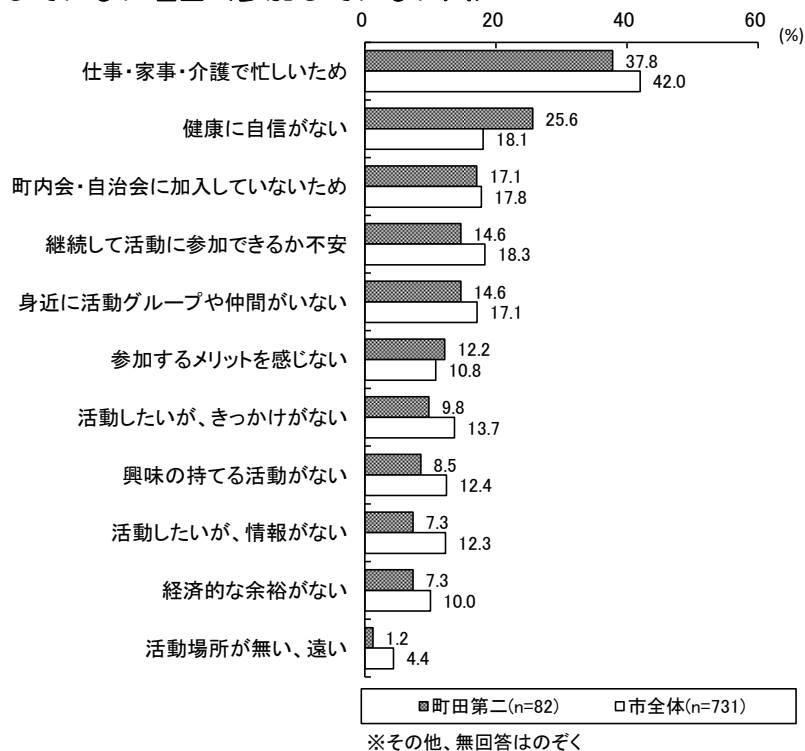
◆地域活動・ボランティア活動への参加状況

- 地域活動・ボランティア活動に参加している人は26.7%であり、全体と同率である。



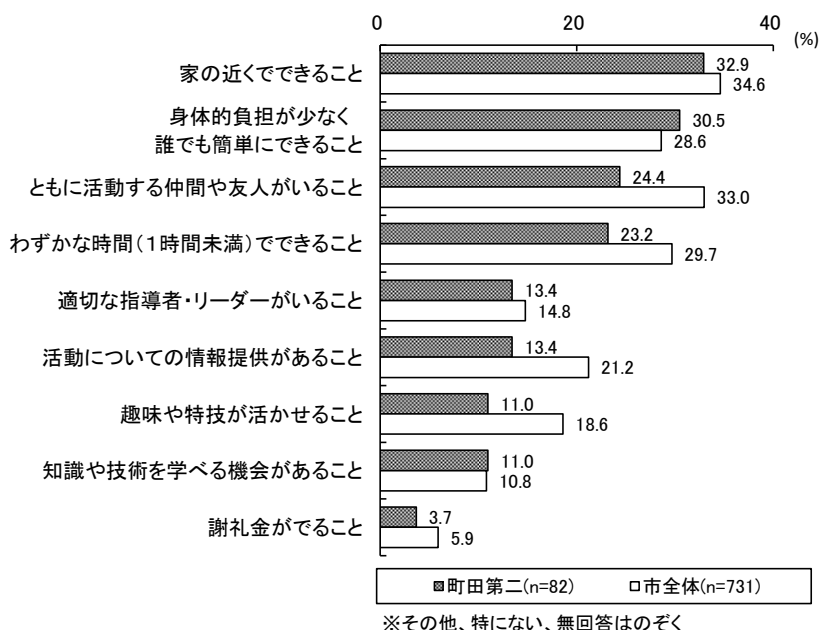
◆地域活動・ボランティア活動に参加していない理由<参加していない人>

- 地域活動・ボランティア活動に参加していない人にその理由をたずねたところ、全体と同様に「仕事・家事・介護で忙しいため」が最も多くなっている。また、「健康に自信がない」、「参加するメリットを感じない」は全体を上回っている。



◆地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件<参加していない人>

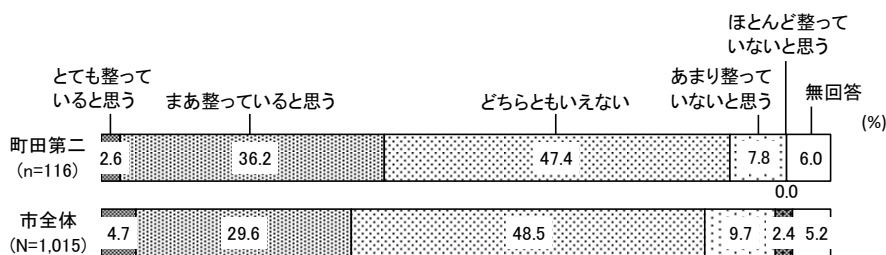
- 地域活動・ボランティア活動に参加していない人に参加しやすくなる条件をたずねたところ、「家の近くでできること」が最も多く、「身体的負担が少なく、誰でも簡単にできること」が続いている。
- また、「ともに活動する仲間や友人がいること」、「わずかな時間（1時間未満）でできること」「活動についての情報提供があること」、「趣味や特技を活かせること」は全体を5ポイント以上下回っている。



(4) 福祉サービス、福祉施策

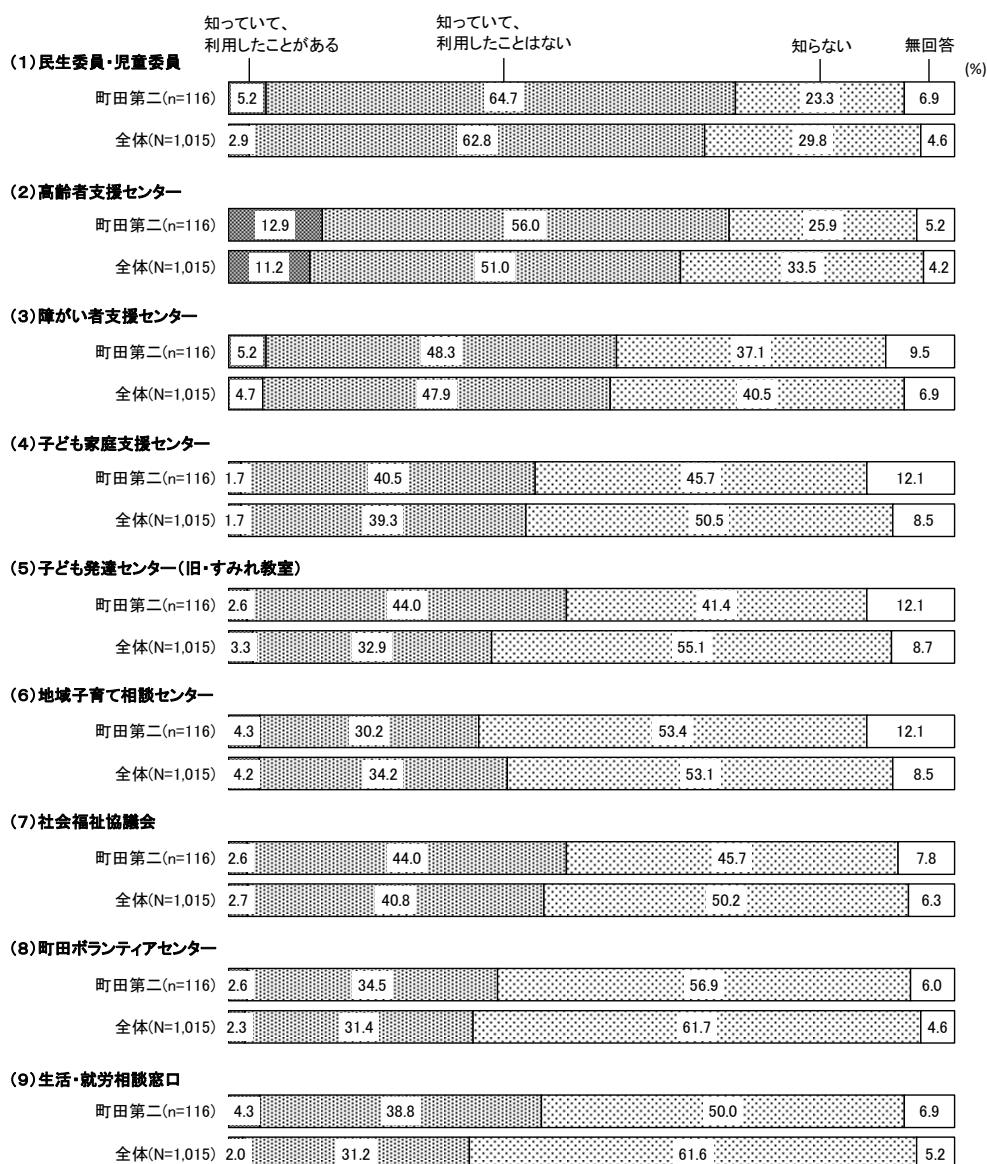
◆町田市の福祉サービスの利用環境の整備状況

- 町田市の福祉サービスの利用環境の整備状況は、「とても整っていると思う」と「まあ整っていると思う」を合計すると 38.8% で、全体と比較して 4.5 ポイント上回っている。



◆福祉に関わる相談窓口・機関等の認知度・利用状況

- 福祉に関わる相談窓口・機関等の認知度（「知っていて利用したことがある」と「知っていて、利用したことがない」の合計）は、『民生委員・児童委員』、『高齢者支援センター』は 7 割弱と高くなっている。
- 全体と比較すると、認知度は『子ども発達センター』で 10.4 ポイント、『生活・就労相談窓口』で 9.9 ポイント全体を上回っている。



7. タウンミーティング（地区別意見交換会）の結果

（１）実施目的・参加人数・主な参加者

<実施目的>

- 2022年4月から始まる新たな市の基本構想・基本計画である「まちだ未来づくりビジョン2040」の策定に向けて、2019年に町内会・自治会や地区協議会を対象の中心として、市内10地区でタウンミーティング（地区別意見交換会）を実施し、それぞれの地域にお住まいの方と一緒に、住んで良かったと思えるような、まちだの未来を考えました。

<参加人数（グループ数）>

- 5人（1グループ）

<主な参加者>

- 町内会・自治会、民生児童委員、青少年健全育成委員。

（２）住みたい（なりたい）まちの姿とご意見

① グループごとの話し合いから出た「住みたい（なりたい）まちの姿」

【Aグループ】夢の実現に向けて進化し続けるまち

② タウンミーティングでいただいたご意見

<高齢者の活躍>

- ・高齢者になってから、また新しいことができる、挑戦できると良い。
- ・動ける高齢者増えている、活躍していけると良い。

<教育>

- ・教育の場がインターナショナルだとよりプラス。
- ・ものづくりの視点を入れた教育。

<地域づくり>

- ・ハード以前にソフトを活発にさせる必要がある（あいさつとか）。
- ・町田のブランド化必要。

<場所>

- ・子どもが集まる公園がほしい。

<地域の意識>

- ・” 一歩 ” が出せる、出そうと思える。

（出典：各種ワークショップ等の取組み状況報告より）

URL：https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/sinokeikau/machida_miraizukuri_vision2040/kyodokento20201101.html

8. 過去5年間で感じる地域の良い変化（強み）・悪い変化（弱み）

- ・ 2021 年度の地区別懇談会の開催にあたり（新型コロナウイルス感染症拡大の影響により 2022 年度に延期）、参加希望者の方に事前アンケートとして、過去5年間で感じる地域の良い変化（強み）・悪い変化（弱み）をたずねました。
- ・ 以下は、回答いただいたご意見を表現はそのまま、主な意見を抜粋して掲載しています。

分類	地域の良い変化(強み)	地域の悪い変化(弱み)
人(世帯)	<2021 年度に回答いただいたご意見> ・ 農地が住宅地になり、若い住人が増えた。 <2022 年度に回答いただいたご意見> ・ 住宅が増えて子どもが減った。 ・ 新築の建物が古い建物に変わりつつあり、新しい人が移り住んでいる。	<2021 年度に回答いただいたご意見> ・ ますます少子高齢化が進んでいる。 ・ 高齢化・単独世帯の増加が不安。 ・ 高齢化が進み、空家も増えてきている。防犯面からも不安がある。
つながり、意識	<2021 年度に回答いただいたご意見> ・ 世代間交流がほんの少しだけ前進した。 ・ 相談窓口の職員としては5年前より近所の方の相談がある。 ・ 近隣を気にする方が増えたと思う。 <2022 年度に回答いただいたご意見> ・ 住民がオンラインに慣れ、自宅に居ても人と繋がる機会が増えた。	<2021 年度に回答いただいたご意見> ・ コロナの影響で、近所のつき合いが減少。 ・ コロナの影響で地域のコミュニケーションが減った。 ・ 地域の人々の現況を知る機会が少なく、支え合うきっかけもなくなっている。 <2022 年度に回答いただいたご意見> ・ 新しい人が地域に関わるキッカケがより減った。 ・ マンションで、町内会に入らないと決めたら個人では町内会に入れないのでしょうか。この会も個人では参加していいのか、わかりませんが地域に参加したい。 ・ 子ども会がなくなり、地域の子どもの存在もわからない。
活動	<2021 年度に回答いただいたご意見> ・ 若い世代の人達が自治会を手伝ってくれるようになった。 ・ 自治会内に新しく入って来る若い世代の家族が増えた。 ・ 見守り活動の定着。 ・ シバヒロでのイベント開催。 <2022 年度に回答いただいたご意見> ・ ボランティア、非常勤職員で地域の 80 代がうちの事業所にいる。 ・ 小学校の旗振りで、地区協議会の腕章を巻いている方を見かけます。 ・ まちピカ町田で通報した草刈り対応が結構速い。	<2021 年度に回答いただいたご意見> ・ コロナで行事が出来ず、自治会離れが不安。 ・ 世代間交流が少し減った(コロナでお祭りや楽しい活動が減少)。 ・ 防災、避難訓練の参加人数減少。 ・ 共働き等があたりまえになり、PTA、自治会などの活動が難しくなっている。 ・ 自治会や地区協議会役員の高齢化。 <2022 年度に回答いただいたご意見> ・ 見守りの数が減った ・ 自治会加入に魅力を感じていない人が多い。
場所(施設)	<2021 年度に回答いただいたご意見> ・ 保育園の増設。 ・ マイナンバーカードのサポートセンター開設(レミイ町田)。	

分類	地域の良い変化(強み)	地域の悪い変化(弱み)
まち・交通	<2021 年度に回答いただいたご意見> ・ 治安の改善。 ・ 道路整備。 <2022 年度に回答いただいたご意見> ・ 暴走バイクが少なくなった。 ・ 駅周辺が整備されて綺麗になった。 ・ 不法駐輪自転車が少なくなった。 ・ 町が綺麗になってきている。	<2021 年度に回答いただいたご意見> ・ 町田駅周辺にゲームセンター・パチンコ等、ギャンブルが新たに増えている。 ・ パチンコ屋が多い。 ・ 空きテナントの増加。 ・ 赤ちゃんトイレや子どもトイレの不足。 ・ 宅地開発による自然の減少。 ・ 車の交通量が増えて道路整備が遅れている。 <2022 年度に回答いただいたご意見> ・ 大きく育った公園の植栽を躊躇無く伐採する。 ・ 線路のフェンスへの落書き。 ・ 商店街のお店が閉店して寂しいところが多い。 ・ 雑草対策のシート張り。年中工事中の雰囲気になってしまった！
その他	<2021 年度に回答いただいたご意見> ・ 原町田で社会実験が行われた。 <2022 年度に回答いただいたご意見> ・ コロナ禍で一度立ち止まった事により、本当に必要なもの、欲するものがわかった。	<2022 年度に回答いただいたご意見> ・ 運動不足、閉じこもり(コロナ禍の影響)。 ・ コロナで外出を拒否、制限する方が増えた。 ・ 選挙の投票率が低い。 ・ 住宅が増えて外壁がカビているのは、建てる時の計画が悪かったのでは？と。 ・ 特殊サギ被害多すぎ。